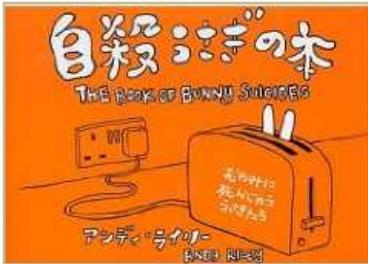


幸せを  
探している  
あなたに

## 成功したエリートの孤独をご存知ですか



だれがその人々の苦しみを知ってあげられるのでしょうか 「Depression. 友だちに感謝します。マリ教授にありがとう。1年間、大変だったでしょう。私は生涯、悪いことはしてきませんでした。しかし、私の人生は、なぜこうなのでしょうか」2003年4月1日、ホテル24階から投身自殺した世界的な俳優チャン・グックヨンの遺書です。「生きるということが大変で、監獄のようだ。自ら国政のために情熱をつくしたが、国政が誤っていたと非難されて本当に苦しかった。(中略)これから受ける苦しみも計り知れない…」2009年5月23日に自殺した盧武鉉大統領の遺書です。〈武器よさらば〉

誰がために鐘は鳴る〉などでよく知られているヘミングウェイは、ノーベル文学賞を受けた7年後の1961年、拳銃で自殺した父親と同じように、猟銃で自殺しました。彼の遺書では、「今、私のたましいは、フィラメントが切れてしまった電球のように孤独で暗い」と記録されています。この頃、有名人と経済人の自殺のニュースが絶えず聞こえます。だれが成功したエリートの孤独を分かるのでしょうか。現在、裁判所の部長判事に在職しているある人の告白が、少なくとも、その人々の心情を理解させてくれます。「司法試験に合格した後、地方裁判所の判事に任命された後、2年ほどは本当に幸せにプライドを感じながら生きていました。幼い時から切実に願っていた判事の夢がかなった時は、本当に感激で、すべての世の中が私を中心に回って行くようでした。ところで、2年ほど過ぎてから、他の人がわからない困難が訪ねてきました。私がずっと夢見てきた目標を達成した後、新しい目標がないという事実のために、話すことのできない悩みをしながら重労働の難しい生活をするようになりました。そのようなある日、イエス・キリストを通じて私の人生の悩みに対する解答を得るようになりました。今は、私のように話すことができない苦しみにあっている法曹人と後輩たちを理解して助けながら生きて行っています…」

幸せでなければならぬ人が、なぜ苦しみの中に生きなければならないのでしょうか 人間の根本について科学と知識では説明することができない事実を、聖書では確かに明らかにしています。魚が水の中で生きて、木は根を土におろして生きていくのが当然の原理であるように、人間は神様とともにいてこそ幸せな霊的な存在として創造されました。最近の医学の分野では病気と健康を説明するのに、科学的に証明することが難しく、精神的なもの以上の何か霊的な部分があるということをも認める傾向があります。このような霊的存在である人間が神様を離れてから、すべての問題がはじまり、呪いがきて、災いと苦しみがやってくるようになりました。お金がなくて精神問題がくるわけではありません。医者がいなくて不治の病にかかるのでもありません。夜通し楽しんで、心が何となく寂しくて、安息がない理由は、神様を離れているためです。世の中で得る平安は一時的なだけです。快樂は、その瞬間は満足しますが、まことの幸せではありません。そのあとに、必ずむなしさと呪い、より大きい不幸が付いてくるようになっていきます。なぜでしょうか。不幸をもたらす張本人がいるためです。聖書はその名をサタン、または悪魔、悪霊、あるいは迷わす霊と言っています。サタンは、人間が神様を知らないようにさせて、困らせて、滅ぼします。それで、神様はイエス・キリストをこの世に送って、人間が解決することができない根本的な問題を解決して、救いの道を開いてくださったのです。だれでも、イエス・キリストを信じて、受け入れれば、神様の子どもとなって人生のすべての苦しみから解放されます。神様は、今、あなたが苦しみから解放されることを願っておられます。

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。(マタイの福音書 11:28)

## あなたは 大切な人です！

**福音持ったひとり** ソドムとゴモラが硫黄の火で滅びたのは墮落と罪とのためではありませんでした。ソドムとゴモラを生かす義人十人がいなかったためです。2.7%の塩分(NaCl)のゆえに、海水は腐らないと言われています。ノアはたったひとりだったのですが、暗やみ時代の文化を変えて、洪水以後に新時代を開きました。アブラハムは一人で道に出たのですが、全世界を生かす信仰の先祖になりました。パウロと一緒にいた少数の弟子は、後にローマ文化を変えました。「私に、罪を嫌って、神様だけを愛する人12人だけをください。そうすれば、英国を変えます」と祈ったジョン・ウェスレイ(John Wesley)を神様は用いられました。「エルサレムのちまたを歩き巡り、さあ、見て知るがよい。その広場で捜して、だれか公義を行ない、真実を求める者を見つけたら、わたしはエルサレムを赦そう」(エレミヤ 5:1)

**決断-私の時代を開こう！** 私たちは過ぎた2000年の間、忘れていた伝道者の位置を回復するべきです。教会の中のすべての信徒、牧会者と各機関の事情を知って理解することが、重職者伝道企画の最初です。そして、現場の所々に重傷者を立てて救われるたましいを探して、現場の弟子を探して、時代を生かす初代教会の重職者の祝福を回復しなければなりません。教役者は、漁師が海底を一つ一つ把握しているように、現場を細かく読みながら、初代教会の指導者のように、現場に120長老、120弟子、120の場所を置いて挑戦しなければなりません。それで、すべての地域を生かして世界を生かす伝道キャンプ専門チームを作らなければなりません。専門チームを通して、弟子と重職者と場所(施設)をあらかじめ準備しておいて、完全にその地域を生かす地教会をたてていかなければなりません。そして、次世代(レムナント)は、7つの問題(家庭、教会、社会、国家、偶像、失敗、未来の問題)の中で、それがむしろ土台になり、答えになるように祈る理由があります。また、すべての信徒は、生活の現場でみことばを握って、みことばを味わいながら生きていく時、すべての現場が生き返る答えを体験することができるようになります。福音の他には真理がありません。それで、私たちは完全福音運動をしなければならぬのです。伝道のほかには緊急なことはなくて、宣教のほかには、世界を正しく見ることはできません。弟子の確立より重要なことはなくて、次世代(レムナント)とRUTCのほかには、文化を生かす道はありません。この時、神様と通じる私の時代が開く開くようになります。

「最も小さい者も氏族となり、最も弱い者も強国となる。時が来れば、わたし、主が、すみやかにそれをする。」(イザヤ 60:22)

### 神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

### 神様の子どもの五つの確信

- 1 救いの確信：**イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)
- 2 祈り答えの確信：**神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信：**神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 赦しの確信：**あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信：**救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます

### 神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

# 完全福音

## 「わたしを呼べ」

3つの事実をご存知ですか 神様はまちがいなく世界の歴史と人間の生死、災いと祝福を統べ治めておられます。一つの国の興亡盛衰も、やはり神様の御手にあります。それなら、私たちはどのように決断して、どのように神様の祝福を正しく味わうことができるのでしょうか。まず、分かなければならない3つの事実があります。まちがいなく、福音がなければ、災いが来るようになっていきます。理由もなく、突然にやってくる災いを解決する道は、福音しかないことを聖書のみことばと歴史が確かに証明しています。それで、神様は私たちに宗教でなく、福音をくださったのです。宗教は人間が作ったものですが、福音は人間の力で作り出せることではありません。霊的問題は、人間が自分で解決することができないためです。福音がない人は、自分で崩れれば、自分が判断することができない状況に直面するようになって、まったく予想もつかなかった危機に直面するようになります。それで、結局、他人を殺すようになったり、自分で、自分の命を断ったりするのは、なぜ福音が宣べ伝えられなければならないのか、その理由が分かったら、神様と通じるようになります。それでも、教会に通う信徒にも問題が来る理由は何でしょうか。答えがない教会はどんな教会で、教役者と重職者が失敗を繰り返す理由は何でしょうか。完全福音で人生の結論を出していないからです。完全福音でなければ、サタンの攻撃を勝ち抜くことはできません。宗教はずっと復興するのに、キリスト教はどんどん減少していつているのが、こんにちの現実です。教権が起きて、分派が起きて、四分五裂して、信徒はあちこちさまよっています。歴史を見れば、その時ごとに戦争が起きて、なくした福音が回復したことが分かります。これが歴史と教会史が残した教訓です。これを防ぐ道は、正しい福音を伝えることだけです。それで伝道は全てなのです。

必ずしなければならないこと この事実を知って、必ずしなければならないことがあります。個人は人生において伝道者との出会い、神様のみこころを知る伝道チームを置いて祈りを始めなければなりません。このために、重職者、教役者、伝道専門チーム、レムナント、一般信徒が、確かに知らなければならないことがあります。重職者は、牧会者、教会の中の専門家、教会の信徒、新しい家族、機関など、全体の事情を理解する伝道企画を始め、教役者はすべての現場を把握して初代教会のように120ヶ所の現場を捜し出すべきです。伝道専門チームは、あらかじめ弟子と重職者、施設を準備しておいてキャンプのフェスティバルに入らなければならない。そして、レムナントは7つの問題（家庭、教会、社会、国、偶像、失敗、未来の問題）の中で、それがむしる土台と答えになるように祈って、すべての一般信徒は、生活の現場でみことばを味わいながら暮らさなければなりません。これが合わさって伝道運動が起きて、これを地教会と言うのです。

どのように始めなければならないのでしょうか 神様の子どもは、神様が力で共におられる事実を必ず知って体験しなければなりません。決断だけでも、神様は答えられます(ダニエル 10:12)。さらに確実な答えは完全福音を契約で握って祈ることです。そして、さらに完備な解決策は、世界福音化を見ながら祈ることです。福音のゆえに一つ(Oneness)となること、福音と次世代(レムナント)のためにすべての人生を集めるのが、最高の祈りです。私たちが属している生活の現場が、神様がくださった現場であることを記憶して、最高の祝福と答えを味わうようにイエス様の御名で祈ります。

「わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。」

説教\_柳光洙牧師, 整理\_チャ・ドンホ牧師

## 毎日毎日の森の泉

16日(月) 安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ(出20:8~11)

人間の霊の空虚さは、ただ神様だけで満たすことができるので、私たちには霊的な安息が必要です。イエスがキリストであるという解答を持って、インマヌエルを味わう祈りを始めるとき、サタンの勢力は砕かれて、霊的な安息を味わうようになります。

17日(火) 私は約束の子どもなのか(ロマ9:1~13)

イエスがキリストであることを信じた者は、神様の子どもです。だれもキリストの愛から私たちを引き離すことはできません。この確信を持つとき、サタンは、すきをつくことができず、神様は私たちの未来を完全に保障して導いてくださいます。

18日(水) 2千年ぶりの更新(使徒6:1~7)

初代教会は、現場のあちこちに重職者を立てて、救われる者を見つけて、弟子を見つけて立て、時代を生かしました。今、私たちはこの重職者の位置を回復しなければなりません。福音を持った重職者1人が出てくれば、現場が生かされ、信仰がある牧会者1名が出れば、講壇が生かされるようになります。この信仰の決断が必要な時です。

19日(木) 失われたものを取り戻すため(使徒1:8)

初代教会が世界を征服した理由は、イエスがキリストという福音の奥義とすべての行動基準である神の国と、聖霊に満たされる唯一の方法を持っていたためです。私たちが毎日祈りの答え、みことば成就の答え、伝道の答え、現場の答え、唯一性の答えを持って聖霊の内住、聖霊の導き、聖霊の満たしを味わわなければならない。それです。

20日(金) あなたの両親を敬いなさい(出20:12)

両親を敬うことより両親を敬うことができる人になることが重要です。真の成功をする座にいれば、真に両親を敬うことが可能です。家庭にある問題を祝福の土台として、重要な未来において信仰の決断の中で祈り挑戦すれば良いのです。そのとき私たちの限界を超えることができます。

21日(土) 神様と通じる者(ロマ9:14~18)

福音と伝道を知るなら、神様と通じるようになって、みことばを聞いて祈れば、神様の計画を知るようになります。伝道の中に、祈りの中に、世界福音化の中に、全てのものが準備されています。この中で、教会と地域文化と、次世代と時代を生かさなければなりません。

### 週間メッセージ

産業宣教: 福音のためにすべての人生を集めることが祈りである(コリント10:31)

伝道学: 苦難と祈り(ピリピ410~13)

核心訓練: 神様が彼らをご存じます(使徒10:1~8)

聖日1部: 四十日四十夜をシナイ山にて(出24:12~18)

聖日2部: 福音を持つ者たちの愛国と祈り(ローマ13:1~7)



イラスト\_ユン・スルギ

## 悪霊は怖いのでしょうか、 汚いのでしょうか



韓国や日本の人々は、長い間、シャーマニズムの信仰に引っ張られてきた。人が世に存在し始めた時から活動している霊的勢力は、今でも存在している。人は自分で存在することができないので、信仰で依存して生活を送るしかない。人間には、何かわからない恐れが存在するのだが、それが宗教性だ。原則的には、神様から離れた証拠でもあるが、人間が自分では解決できない多くのことがこの世には存在していて、まだ来ていない未来を分かりたい衝動が、霊的世界を憧れるようにさせる。霊的存在は、創造主である神様と、被造物である御使いと人間だ。御使いは、隊長格である、良い知らせを伝達するガブリエルと、戦場を担当するミカエルと、暁の子、明けの明星と呼ばれるルシエルがいる。これらの中で、ルシエルが、自分の慢心で、神様に反逆して、空中に追い出された時、御使いの中の三分の一がともに墮落したが、それが悪霊だ。霊的存在の中で、人間だけが肉を持っているが、サタンの誘惑にだまされて罪を犯して神様を離れた人間は、肉を持ってこの世に来られたイエス・キリストの血潮を通して救われるようになった。霊でだけ存在する御使い、すなわち墮落した天使長ルシファーであるサタンとその手下である御使いは、救いとは関係なく、最後の審判を待っている。霊でだけ存在するので、多くの霊的知識を持っていて、このような知識を通して愚かな人間を誘惑して、そのからだを支配して、苦しみを与えようとする試みが歴史の中で進行されて、今日まで至っている。

悪霊が人を支配する原理は簡単だ。自分の力でない権威で人々を怖がらせるようにするのだ。事件と環境、事故と病気、宗教と争い、先祖供養と苦しみを通して、終わりのない問題が起きるようにして、

解決しにくい条件を作って、何でもない自分の地位を恐ろしい存在のように見せて、人生を支配しようとするのだ。それで、占いと音楽と文化を暗やみの存在が引っ張っていき、墮落と放蕩と限りない破滅に追い込んでいくのだ。

結局、サタンの戦略は、全世界のすべての人が、サタンたちを怖がって恐れるようにさせ、みな地獄の防壁の盾にしようとする意図である。

聖書は確かに話している。悪霊は怖い存在ではなく、汚い存在だと。だれが汚い糞尿を袋に入れて持ち歩き、それを楽しんで取り出してみるだろうか。しかし、私たちの周辺には簡単な常識のような霊的事実を分からないで、公然と恐れてこわがって人生を根こそぎサタンに抜かれてしまい、うつ病と自殺と墮落に自分を放任している残念な人々が多いことを見るようになる。それでは、どうすればよいのだろうか。悪霊を恐れたり驚いたりせずに、福音を受ければ良い。福音は、イエスがキリストである事実で、イエスがまさにサタンを縛ってしまわれた力の主ということだ。悪霊のわなに捕えられて苦しみの水車に縛られていずに、福音の中で「汚い悪霊よ。私から離れる！」と叫ばなければならない。真の自由は、この時から与えられるようになる。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまでどうぞ